

FOR
ADULT
only



~教室編~

ここですか？
本当ですか？

「なあ、ギャル子学校もどらねえ？」

ひえ!?

「ここまで来てなに言ってるの
早いところカラオケいこよ!!
あもしかして忘れ物...?」

「違うけど...いいからもどろうぜ」

『はあ!? ぜんぜん意味わかんないんですけど!!』



…へっ

「いいから！ 戻るっていったら 戻るんだよ!!」

やっ!?
ちよ…っ

…イタいつ!!
イタイよお!!

「早くこいよー! このまま
おっぱいごと引っ張ってくぞ」

『やだやだ! こんなところでなにやってんの バカ!!』

やっ

やっ

やっ



ううつそ!!
ちよやめ…

『なななななななななななんなの??
ここでするって何なのおっ??』

「風が吹くたびにギャル子が
ばんつチラチラさせるから
ちんこ苦しくて死にそうなんだよ
どうしてくれんだよ!」

『ま待って ヤダヤダ!
こんなところでやめてよおっ!!
それ犯罪なんですけど!』

「学校に戻らないなら ここですんぞ!」

Xな長ん

んんん



「いやならここではじめてもいいんだぜ？」

『外でするなんてちょーありえないんですけどっっっ！
やだやだ おっぱい誰かにみられちゃうっっ』

わかったわかった
学校もどろ！もうっ

「いいじゃんかどうせばんつ見せて歩いてんだから
ついでにおっぱいもみんなに見せてやれよ(笑)」



『電信柱までできたよ！
もう終わりでもいいでしょ？』

もうムリーってな
おれがしるのやだ!!

「じゃあここでまた じゃんけんな
じゃんけんポン!
はいまたギヤル子の負け〜(笑)」

「ばんつよく見えねえから
ここからスカート脱げよ
そら、スカートいただき〜♡」

お

『きゃーっ返してえ!!
スカート返して〜っっっ』

「オレばっか発情してヤリたがってんの
なんかカッコ悪くない？ 不公平じゃん
なあギヤル子 ここでオナニーしろよ
俺のチンポ想像しながら(笑)」

『突然なんなの？バカなの？？
そんなのするわけないじゃん!!』

「じゃあ別れようぜ オレ2組の藍那に
告られてて返事 困ってたんだよね…
藍那も悪くないかなって思ってたところだし」

『な なんてそんなこと言うの…?』

信じらんない!!

「ギヤル子がオナニー
見せてくれないから」

『わ わかったわよ…
言う通りにすること
…もうそんなこと
いわないで…』

「ちよっとだよ 本当に
ちよっとだけだからね
すぐやめるよ…!」



『恥ずかしいから…あんまり見ないでね』

「ちゃんとオレのチンポ頭に思い描いてるか(笑)」

「うん うん ……してるよ」

「あれ？なんで泣いてんの？」

『だって急に別れるとか言うんだもん…涙でるよ！…ばか』

羞

羞

羞

羞

ばか

ばか

ばか

羞

羞

羞

羞

羞



「オレのテラちゃんほギャル子のまんこに
ズボズボ入ってるか？」

『うんうん！ 出たり入ったり
じゅぼじゅぼしてるううううっ』

「本物のチンポほしい？」

したいっすぶく
したくなっちゃったあ

あー♡♡♡

もうかマンでまなく
なっちゃってるんです
けどあ！！

あー♡♡♡

あー♡♡♡

『うんうん！ 欲しい！！
あったかくて大きい本物の
おちんぼ欲しいっ！』

あ

あ

あ

あ



「もっとハッキリ言えよ！
チンポどこにどうして欲しいんだよ？」

「…もう、そんなこと
言わせないでえっ」

「言わないなら オレ帰るわ」

『あ 待って…っ！ 言うから
今…言うからあ…っ!!』

おちちん
早く…
早く…

「聞こえないから
やっぱオレ帰るよ
じゃあな！」

お おちちん わたしの
おまんこ早くいれてえっ

アッ

アッ

アッ

アッ

もおっ これ以上
大きな声出したら
ポリス来ちゃうよお



「さあ 学校ついたらぜ!
さっそく壁に手をつけて
ケツ突き出せよ!」

「ええ!? ここ玄関だよ...?
まだ部活とかで残ってる
生徒が通ったりすると
思うんですけど...」

「Loveとか
別れたいのか
悲しいな...」

「ごごご?
ごごごなの...!?」

おん

「そのまましり文字で
ちんぽ入れてって
書いてみるよ(笑)」

「読めなかったらタイキツクな!」



「ギャル子 アウト〜っ!!」

!!

きゃあああ
あああつ!!

「そんな大声出したら誰かくるぞ
ギャル子 リアクションよすぎ(笑)」

「リアクションじゃない!
本当に痛いのだ!! バカ!
手加減しなさいよっ!」

!!!



「このデカ尻にオレのおちんちん
ブツ刺して欲しいんなら
もっとがんぼれよう！」

ぽとか
難しいよ
こう...?

ふああ...あ
お願い今はだれも
通りかからないで!!

「よく読めないから
ばんつを引っ張り上げて
もっとクイ込ませるよ！」

『ばんつは関係ないっしょ!!』

ドキドキドキドキドキドキ

「もうガマンできねえ
もっとケツ上げろよ！」

…うそマ

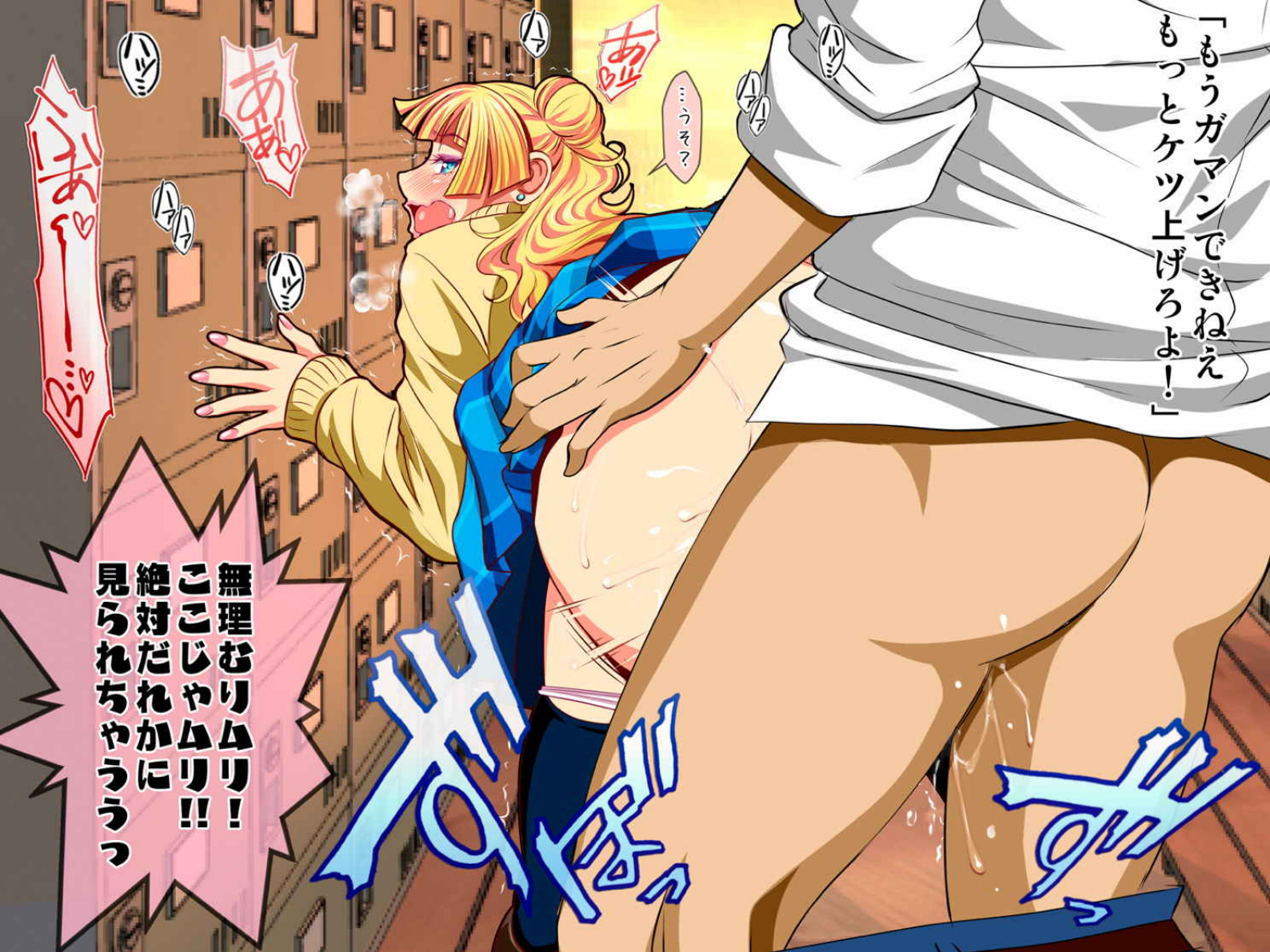
ああ♡

ああ♡

無理むりムリ！
ここじゃムリ！
絶対だれかに
見られちゃうっ

お尻

お尻





見えちゃう！
見えちゃう！！
外から絶対
見えるうっ！！

「そんな趣味ない！
全然ないっ！！」

「や ちよ…と 待ってまって
外で部活やってる子達から
見えちゃうよおっ！ ねえ？」

「いいじゃんか、見せてやれよ！
ギャル子のまんこにチンポが
出たり入ったりするところを
ギャル子そーゆーの好きだろ(笑)」

おっ！！
おっ！！
おっ！！

おっ！！
おっ！！
おっ！！

おっ！！
おっ！！
おっ！！

おっ！！

おっ！！

おっ！！

おっ！！

おっ！！

おっ！！
おっ！！

おっ！！

おっ！！
おっ！！

は...

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ああ

ハハ

ハハ

ハハ

へ？へ？
階段とかあるん
ですけど...???

「途中でチンポ抜けたら
ここからやり直しな！」

はあ

「ギャル子恥ずかしがるとおまんこが
きゅんきゅん締めつけて気持ちいいから
このまま教室に移動しようかな」

『え...? このまま...?』

あ

あ

あ

あ



「ほら、歩け！ 歩け！！
ちんぽ抜けないようにな！！」

ありえないんですけど
こんなエッチな
二人三脚…！！

このままで
階段なんか
上がれるわけ
ないでしょっ！！



ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ニニニは奥まで
深く入れたまま
そっつとね!
そっつと...

「なんでもすぐに
一生懸命になる
ギャル子好きだぜ!」

「ちんぽ抜けたら玄関から
やり直したからな(笑)」

「あ、ニニ曲がるの
もっつとやっくり...!

「もっつとケツを突き出して
オレに擦り付けないと
ちんぽ抜けちゃうぜ!」

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



「川で溺れてる子供を
ギャル子のブラジャーで
助けたって本当なの？」

はっ♡

そんなわけないでしょっ！
わたしのかわいいブラは
命綱になるほどデカくない！！

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

『ほあ…ほあっ
それ以上おっほい
いっちやういっちやう！！
おっほいっちやういっちやう！！』





は...

んや

は!? ねえ? ねえ?
ゴム? 付けてる???

へ?? ちよっ そんなの
絶対ありえないんですけどっ

んや



ふあああああ
わらひの話
聞いれよ

「はらはら、
強盛MAXな♡」

は
は
は

は
は
は

は
は
は

は
は
は

ら...らめええ
いくいくいく
いつちゃうらっ!!

は
は
は

は
は
は

は
は
は

は
は
は

ズズズズ
ズズズズ
ズズズズ



「なあギャル子ここでやめよっか？」

「…え、ええええ？
なんでえ？？」

「だってゴム着けてないし
そんなのやっぱりダメだよな」

あゝ…安全日だった！
今日絶対安全日だった！！
………気がする♡



「やったね！ それじゃあ
今日は派手に中出しなっ!!」

へ...あ ああ でも
それはちよっと...

安全日とかいっても
わたしは生理とか
結構不安定だから
その...ズレてたり



「へいきへいき！
オレの子を孕んだら
結婚しようぜ(笑)」

「ウソ！ どうせ
今日一発中出ししたら
わたしなんて後は面倒で
ポイなんでしよう!!」

「そんなことないぞ!?
一発どころか何発も何十発も
してからポイだぞ(笑)」

そんなのやだよおっつっ!!

ガガガガ

「クリトリス刺激すると
いくらでもマンコ絞まって
ギャル子おもしろ(笑)」

ガガガガ

ガガガガ



『わたしからお母さんだめじゃなく
お父さんになるから...』

お願い... 卒業したら
思いっきりわたしの中に
いっぱい出して

約束してくれるんなら
もっともっと... なんでも
するんですけど...

あー♡♡♡♡♡

あ...♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡



「ぶっくん、本当になんでもするのー!」

「うん…大好きだもん
なんでもしちゃっ♡」

「SMプレイおぼっ!」

「い…いいよ」

「近所の公園で全裸放置とか
してもいいの? もちろんパイプは
ぶっ刺したままだけど!」

「なるべくあったかい
季節にね…寒いのは
カンペンだから」

「アナルとかも犯っちゃってさー」

「う…んんん すけへ怖らさー♡
やせこく…♡♡♡♡♡」

「ギョルギョルと さらさらぬるぬるさー」

「照れるからそんなに褒めないで…キャ♡」



「ギャル子のイキ顔
ちよーかわらちから
動画を撮ってあげようよ」

「そ そんなの撮ってどうすんの？」

「ギャル子に会えない時に見るんだよ
オレに浮気してほしくないだろ？」

うん...
そんなのヤダ

「じゃあお前だから？ 寂しむ時はこの動画で
一人オナニーして満足するめらめら」

それならいいよ
きれいに撮ってね

「お前も撮るよ」

「うんうん♡
きれいに撮ってね♡」



あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

「ほら、
もう撮ってるよ」

「やっくん♡ こんことなら
先週エステいって
おけばよかったよおっ」

び
びーす♡

「へらへら
ギャル子はそのままだ
充分エロいから」

『そんなに褒められると
恥ずかしすぎるんですけど♡』



「いいイキ顔を
残しておきたいから
ちよっと激しくいくぜ！」

あああああああ
いくいく…いく
いちやううううう

やあああああ！
恥ずかしいから
ここんなところ
掃らないでえっ!!

「スマホ防水にしろって
正解だったわ〜(笑)」



ん

ぽっ

ん

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

うん♡いいよ
やさしいね…
ありがとう
お礼におっばいで
してあげるね♡

「動画も撮らせてくれたから
中出しはガマンして外出にするわ…
その代わりギャル子の顔に出してらっ？」

ん

たがっ

ん

たがっ

たがっ

いっしょ!

たがっ

「それからさっさっきのおまんこ動画
絶対に誰にもみせちゃダメだからね♡」

「大丈夫、大丈夫
ニコ動にUPしたり
友達に一回五千円で
視聴させたりしないから
たぶん(笑)」

いっしょ!



げほげほ
…ごぶうっ

くほおー！

もっともっと
がんばるんですけど♡

ドクドク

クワッ

ドク

わたしいいお母さんに
なるためなら

けほっ
けほ…

ズズズ